

工 事 番 号							
設計年度	令和7年度	道路構造物補修工事（市道港町5号線外） 三原市 港町三丁目					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 施工延長 L=100.8m 土工 一式 管布設工 L=95m 組立マンホール工 N=6箇所 舗装工 A=297m ² 仮設工 一式							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市港町三丁目 道路構造物補修工事（市道港町5号線外）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・ その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

- 1 本工事は受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 **本工事で使用する情報共有システムは次とする。**
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 情報共有システムを利用した書類は、決済データ等を整理して中間検査時・工事完成時にCD-R又はDVD-R（中間検査時1部、完成時2部）にて提出すること。
ただし、電磁的記録しない方が合理的な書類は、監督員と協議の上、紙媒体での提出とすることができる。
- 5 情報共有システムを利用した書類の検査は電磁的記録にて検査する。
検査時に必要となる機器は、原則、受注者が準備することとし、検査に必要な電磁的記録は受注者が当該機器に事前に登録するものとする。
- 6 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第4節 週休2日適用工事

本工事は、「発注者指定型」による週休2日適用工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日適用工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

第5節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第6節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第7節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 施工条件

第1節 工程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督職員と協議すること。設計変更の対象とする）

第2節 公害対策

1 公害防止

施工方法	コンクリート破砕において、民家に隣接しているため、低騒音型機械を使用するものとする。
建設機械・設備	低騒音型機械
作業時間	10時～15時

第3節 安全対策

1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

作業期間、交通誘導警備員を3（人／日）配置すること。

2 建設発生土（搬出） （建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土⁵（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分⁶に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所	山田建設株式会社リサイクルプラント	三原市糸崎南2糸崎第3野積場
------	-------------------	----------------

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

3 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第3章 工事保険等

1 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

2 法定外の労災保険 の付保

- (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

数量総括表

—道路構造物補修工事（市道港町5号線外）—

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路施設(開削工法)		式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	呼び径 300mm	m	64	レベル4
硬質塩化ビニル管	呼び径 400mm	m	31	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎 300	再生砂	m	64	レベル4
砂基礎 400	再生砂	m	31	レベル4
管路土留工		式	1	レベル3
開削水替工		式	1	レベル3
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
組立0号マンホール		箇所	1	レベル4
組立1号マンホール		箇所	5	レベル4
取付管およびます工		式	1	レベル2
取付管布設工		式	1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	管径 100mm	箇所	3	レベル4
取付管(硬質塩化ビニル管)	管径 125mm	箇所	1	レベル4
取付管(硬質塩化ビニル管)	管径 150mm	箇所	1	レベル4
取付管(硬質塩化ビニル管)	管径 200mm	箇所	1	レベル4
取付管(硬質塩化ビニル管)	管径 300mm	箇所	2	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	203	レベル4
舗装版破碎		m ²	297	レベル4
舗装版破碎		m ²	109	レベル4
殻運搬処理		m ³	18	レベル4
掘削工		式	1	レベル3
掘削	土砂	m ³	2	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m2	109	レベル4
下層路盤(車道・路肩部)		m2	109	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m2	109	レベル4
表層(車道・路肩部)		m2	297	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)		m2	109	レベル4
区画線工		式	1	レベル3
溶融式区画線		m	4	レベル4
溶融式区画線		m	2	レベル4
溶融式区画線		m	12	レベル4
道路付属物復旧工		式	1	レベル3
歩車道境界ブロック		m	32	レベル4
コンクリート塊運搬処理		m3	3	レベル4
既設構造物撤去工		式	1	レベル3
既設管撤去		m	53	レベル4
コンクリート塊運搬処理		m3	2	レベル4
モルタル充填工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
モルタル充填工		式	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		t	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				

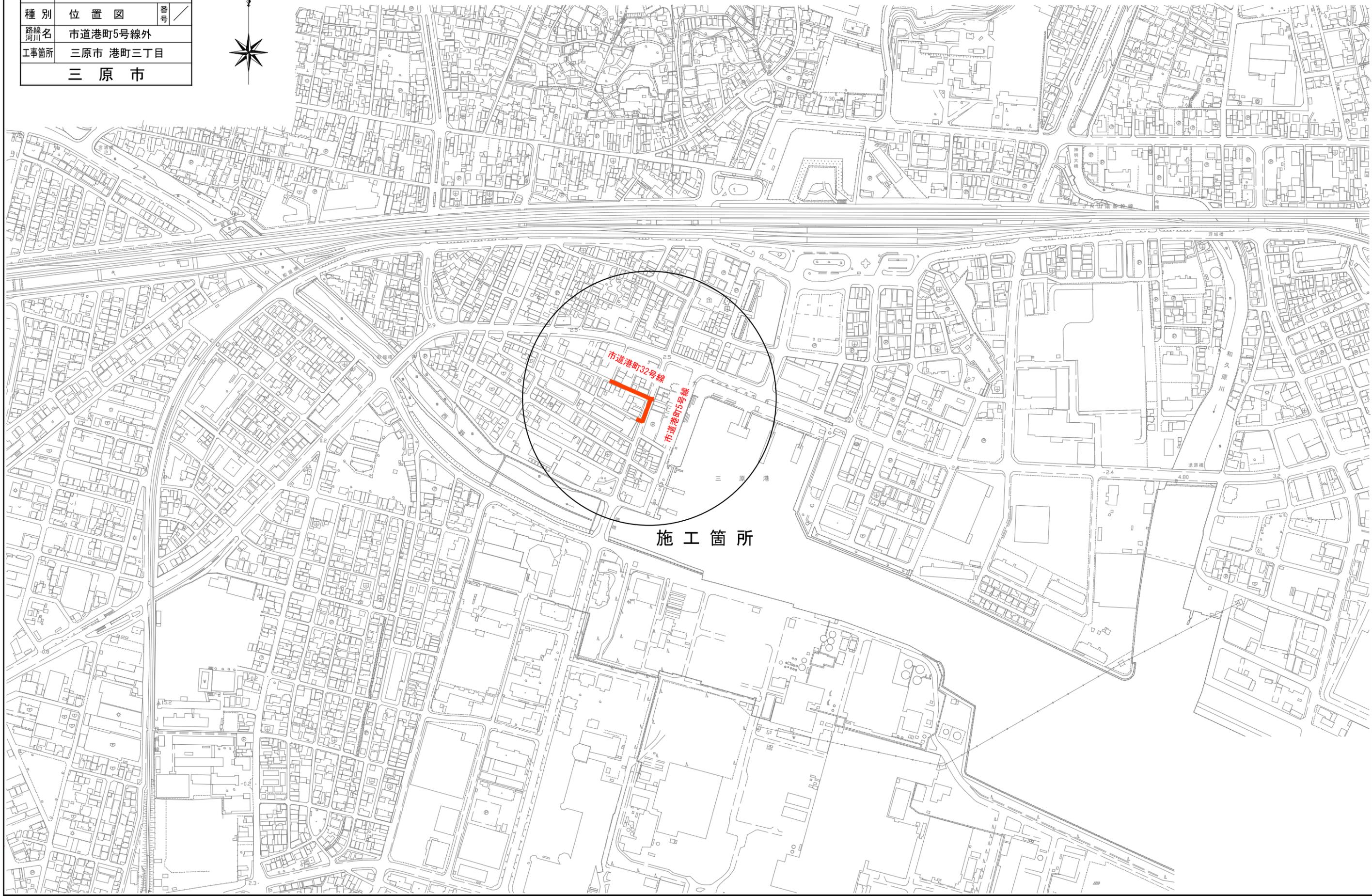
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1/8	縮尺	S=1/2,500
工種	道路構造物補修工事		
種別	位置図	番号	/
路線名	市道港町5号線外		
工事箇所	三原市 港町三丁目		
三原市			

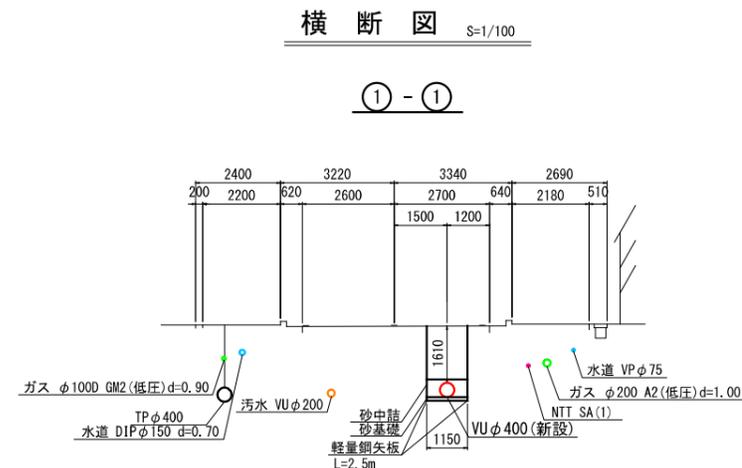


位置図 S=1/2,500

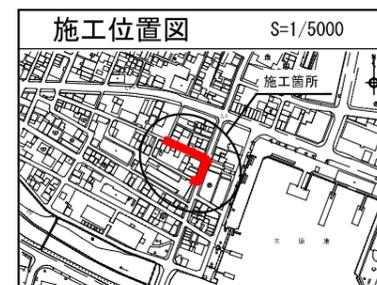
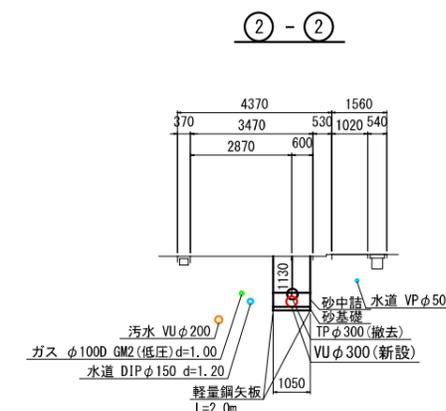
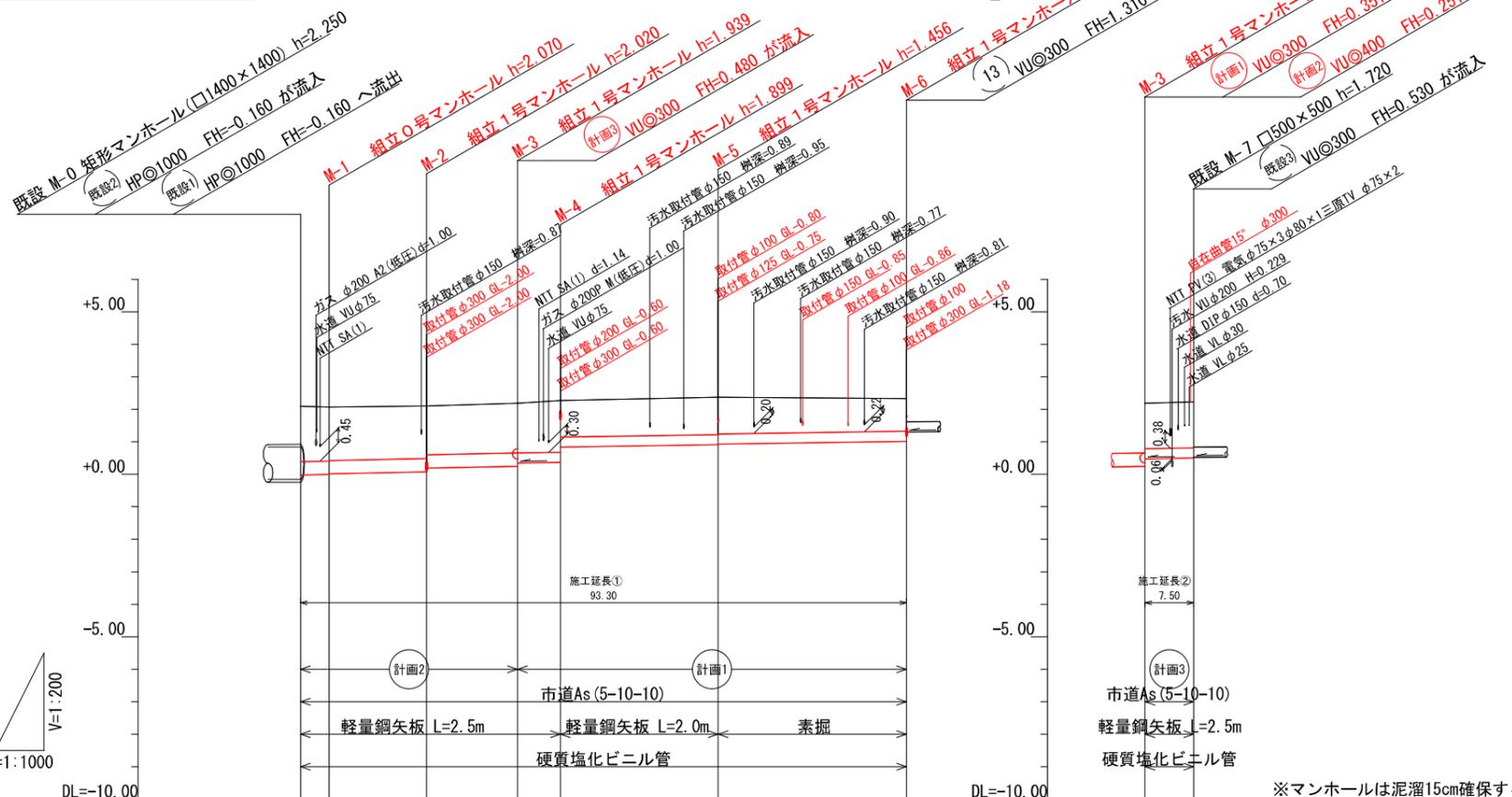


施工箇所

図面番号	2 / 8	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	平面図・縦断面図・横断面図		
路線名	市道港町5号線外		
工事箇所	三原市 港町三丁目		
三原市			



縦断面図 V=1/100 H=1/500



管径 (mm)	VU@400				VU@300			VU@300	
	4.0				3.0			4.0	
勾配 (‰)	4.0				3.0			4.0	
区間距離 (m)	4.40	15.00	14.00	6.60	24.30	29.00	7.50		
地盤高	2.09	2.07	2.10	2.19	2.27	2.37	2.33	2.19	2.23
土被り	1.70	1.66	1.61	1.53	1.59	1.13	1.00	1.40	1.41
管底高	-0.018	0.000	0.080	0.251	0.371	0.914	1.021	0.480	0.510
掘削深	2.22	2.18	2.13	2.05	2.01	1.57	1.42	1.82	1.83
追加距離	0.00	4.40	19.40	33.40	40.00	64.30	93.30	0.00	7.50
区間距離	0.00	4.40	15.00	14.00	6.60	24.30	29.00	0.00	7.50

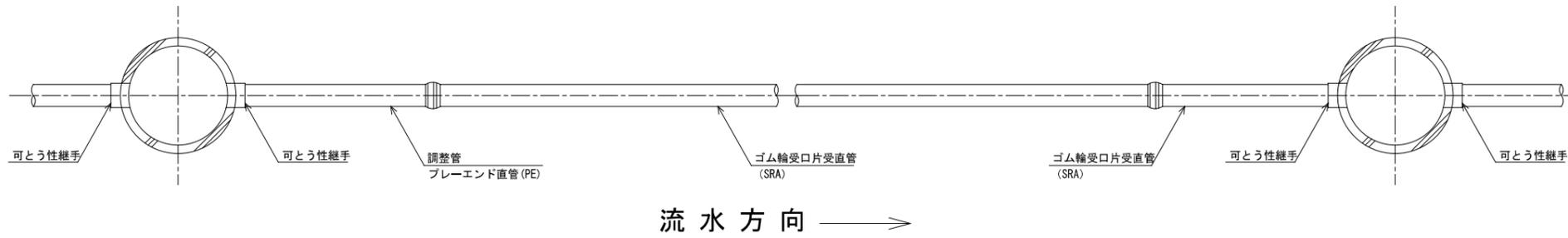
管番号	管径	工法	延長
計画1	φ300	開削・単独	59.90
計画2	φ400	開削・単独	33.40
計画3	φ300	開削・単独	7.50
計			100.80

※取付管は調査時確認したもののみ表記 (施工時確認が必要)

図面番号	3 / 8	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	管布設標準断面図	番号	/
路線名	市道港町5号線外		
工事箇所	三原市 港町三丁目		
三原市			

管布設標準断面図 noscale

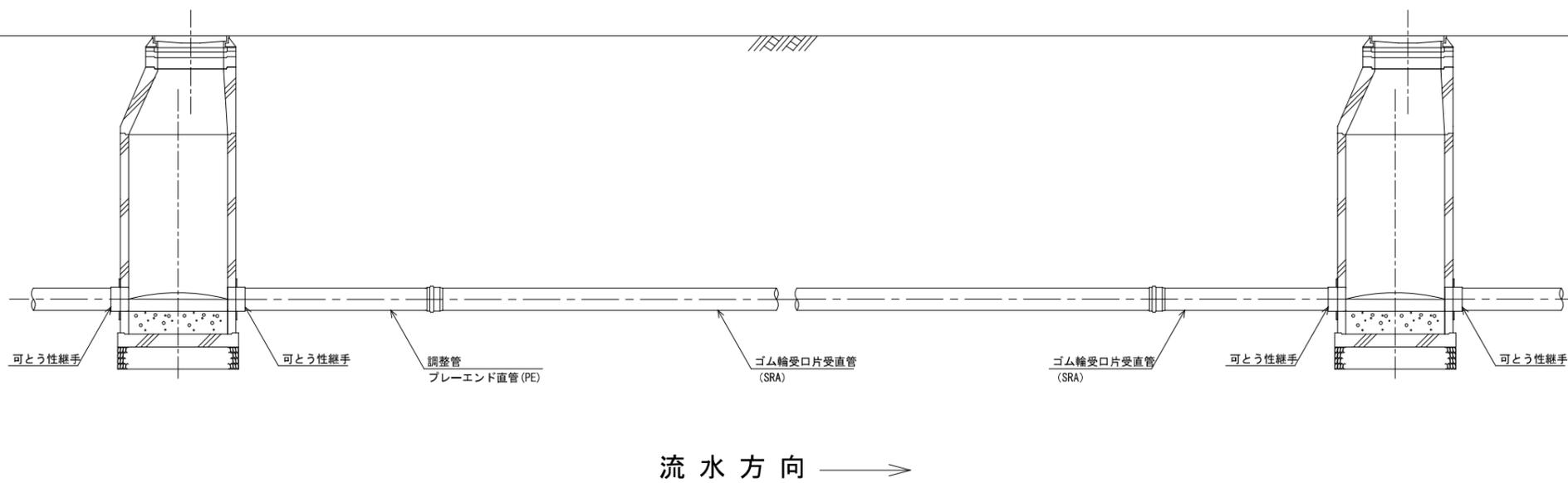
平面図



縦断面図

(上流側マンホール)

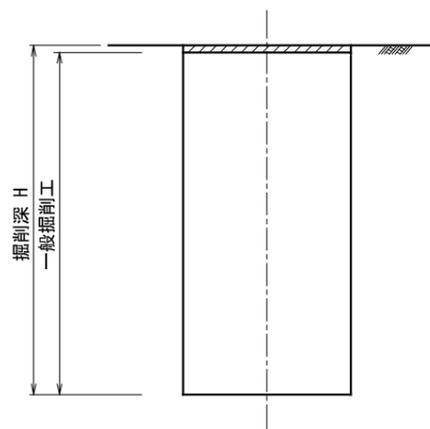
(下流側マンホール)



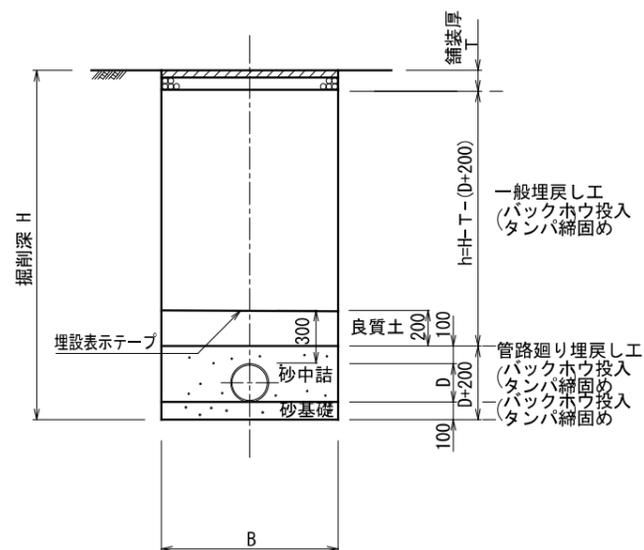
図面番号	4/8	縮尺	S=1/20
工種	道路構造物補修工事		
種別	土工標準図	番号	/
路線名 河川	市道港町5号線外		
工事箇所	三原市 港町三丁目		
三原市			

土工標準図 S=1/20

掘削区分

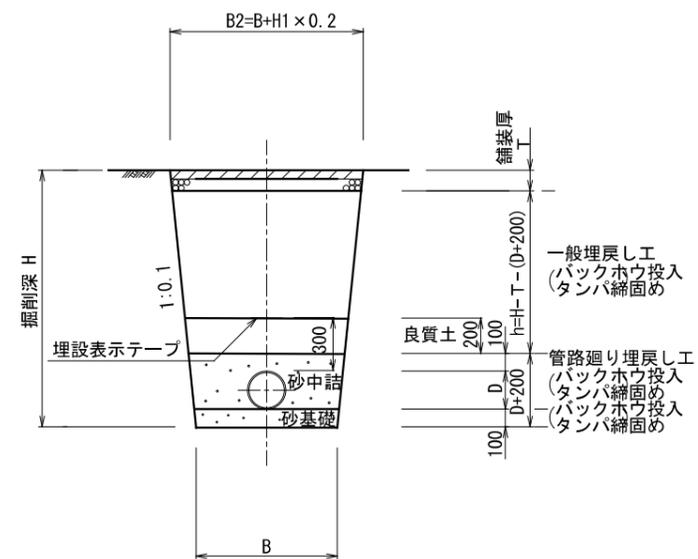


土留工部



呼び径	B (mm)
VU φ 300	1050
VU φ 400	1150

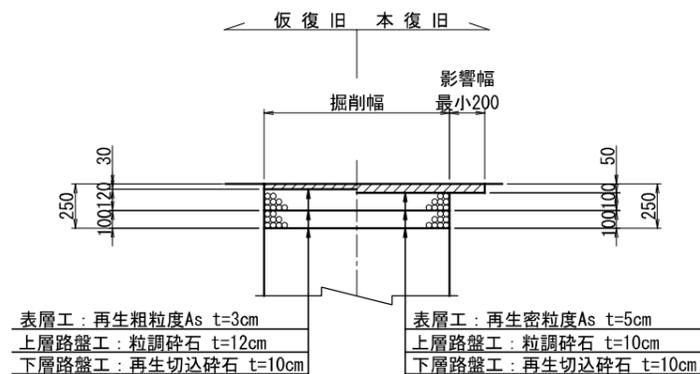
素掘部 H<1.5m



呼び径	B (mm)
VU φ 300	700
VU φ 400	800

舗装構成図 S=1/20

市道 (車道部)

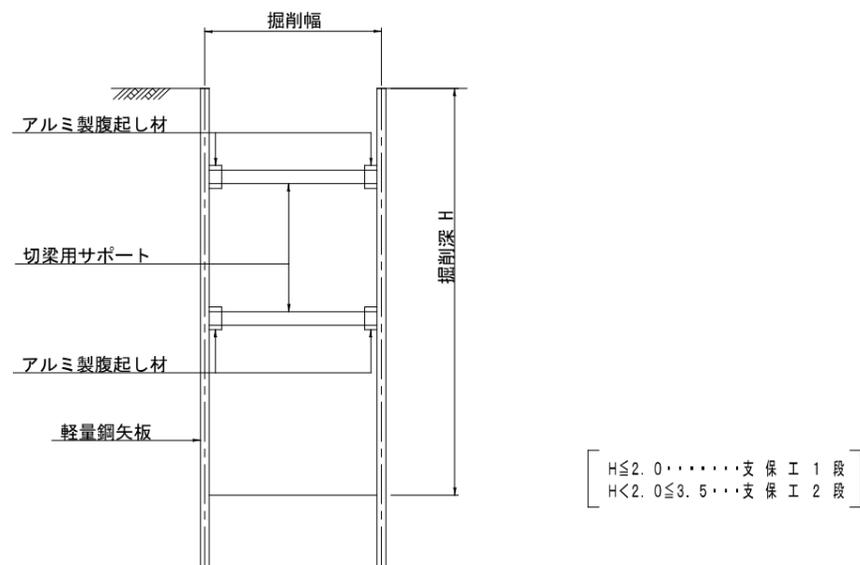


図面番号	5 / 8	縮尺	S=1/20
工種	道路構造物補修工事		
種別	土留工標準図	番号	/
路線名 河川	市道港町5号線外		
工事箇所	三原市 港町三丁目		
三原市			

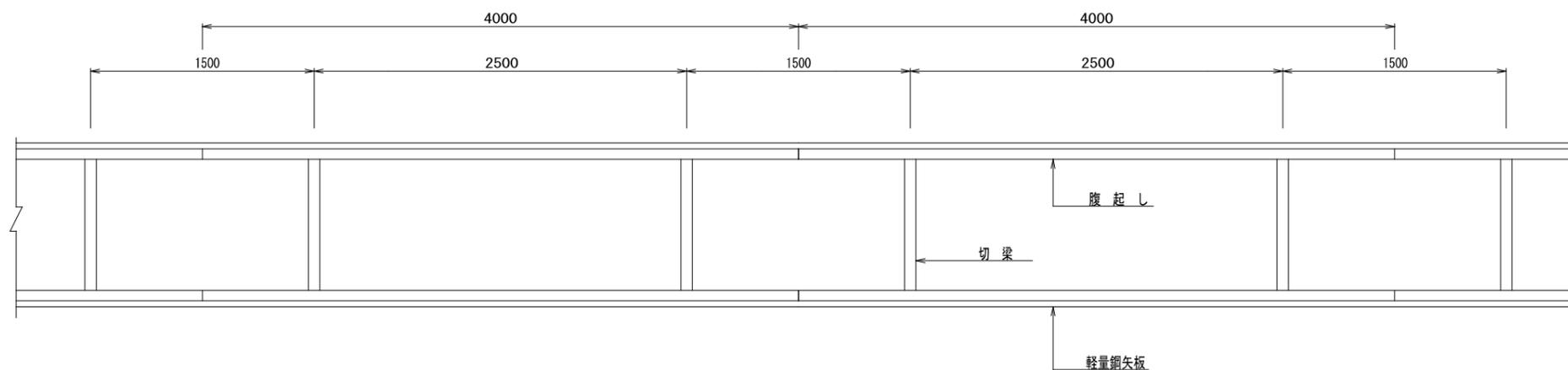
土留工標準図 S=1/20

軽量鋼矢板土留支保工参考図

断面図



平面図



支保設置位置 (参考)

掘削深 (m)	1段支保位置 (m)	2段支保位置 (m)
1.50	GL-0.50	
2.00	GL-0.50	GL-1.25
2.50	GL-0.50	GL-1.50
3.00	GL-1.00	GL-2.00

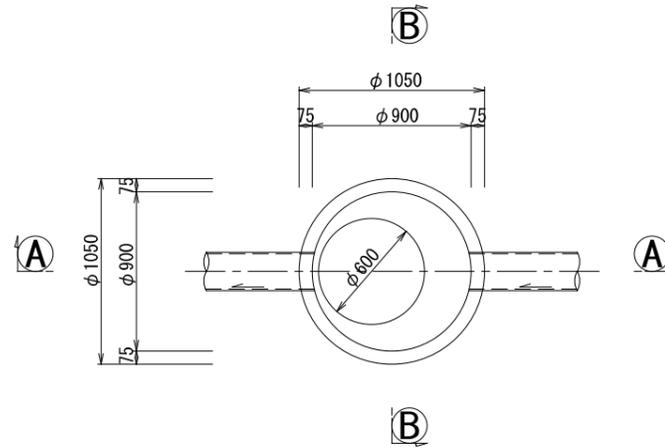
図面番号	6 / 8	縮尺	S=1/20
工種	道路構造物補修工事		
種別	マンホール標準図		
路線名	市道港町5号線外		
工事箇所	三原市 港町三丁目		
三原市			

マンホール標準図

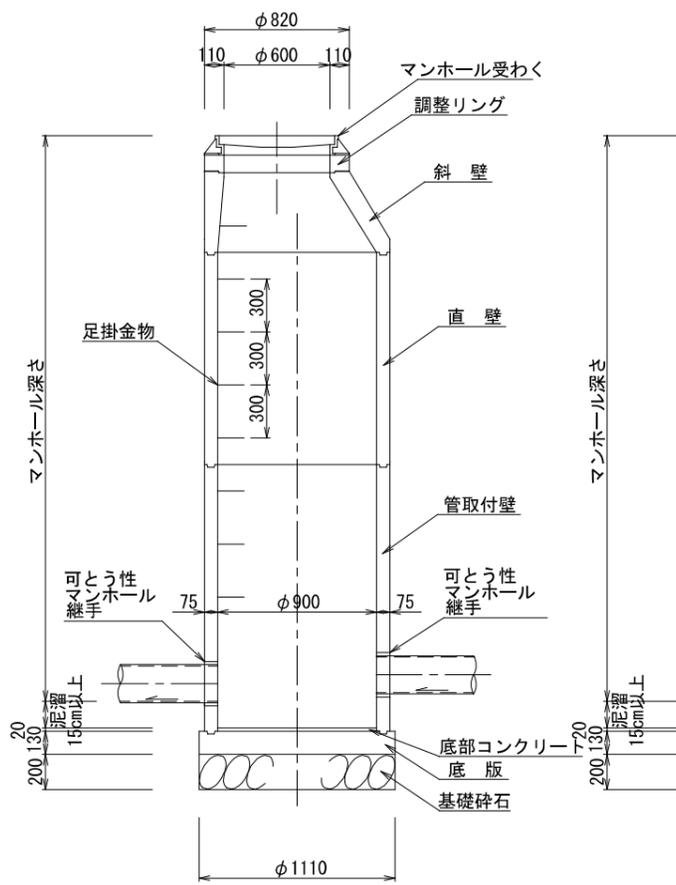
S = 1 / 2 0

1号組立マンホール

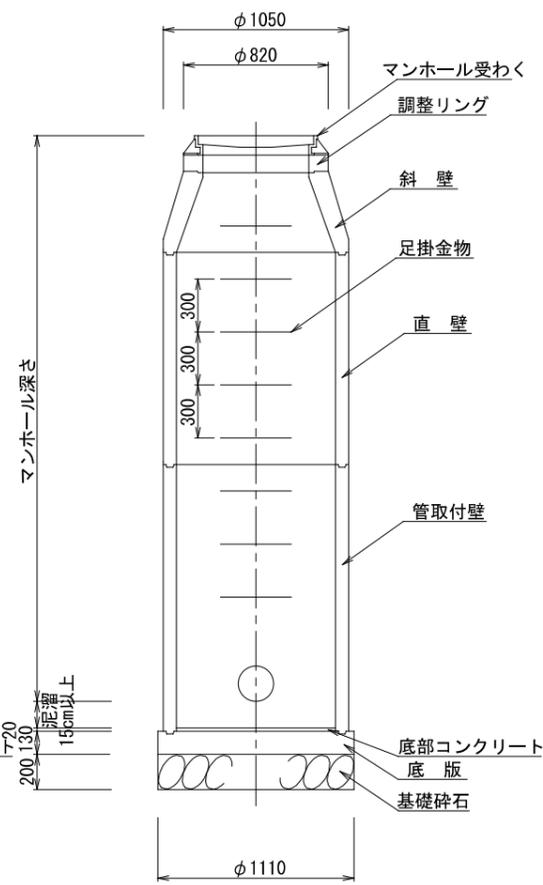
平面図



①-① 断面

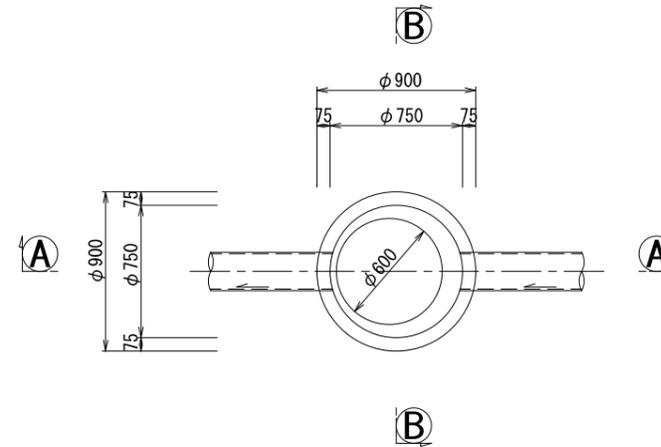


②-② 断面

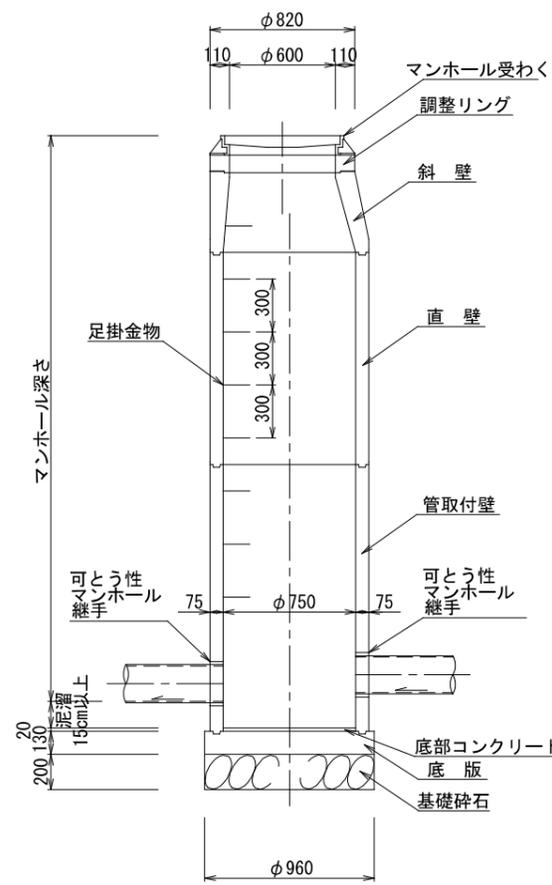


0号組立マンホール

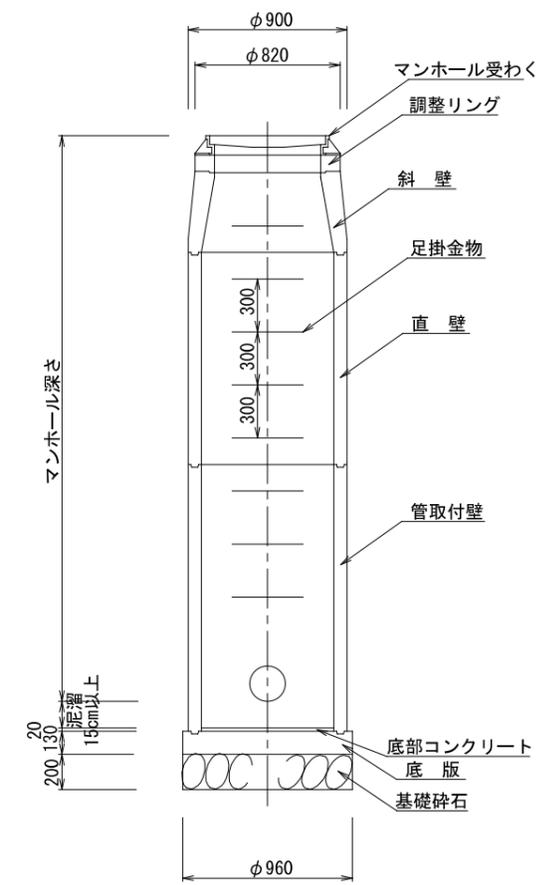
平面図



①-① 断面



②-② 断面



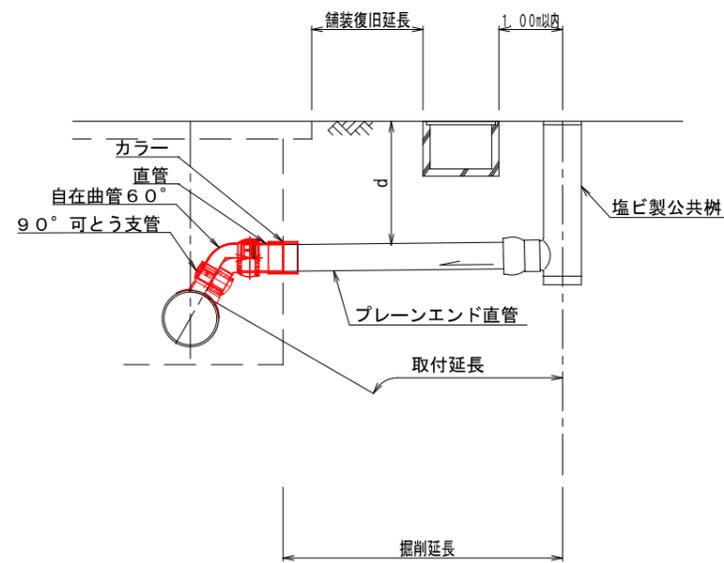
- ※ 人孔深2m以上のマンホールの蓋は転落防止装置付とする。
- ※ 調整リング50mmは車道部については原則使用しない。
- ※ 無収縮モルタル高は1~69mmまでとする。
- ※ 管と管の削孔同士の残り代を100mm以上確保すること。
- ※ 困難な場合は別途防護コンクリートなどを検討すること。

図面番号	7/8	縮尺	図示
工種	道路構造物補修工事		
種別	取付管標準図	番号	/
路線名 河川	市道港町5号線外		
工事箇所	三原市 港町三丁目		
三原市			

雨水取付管標準断面図 S=1/20

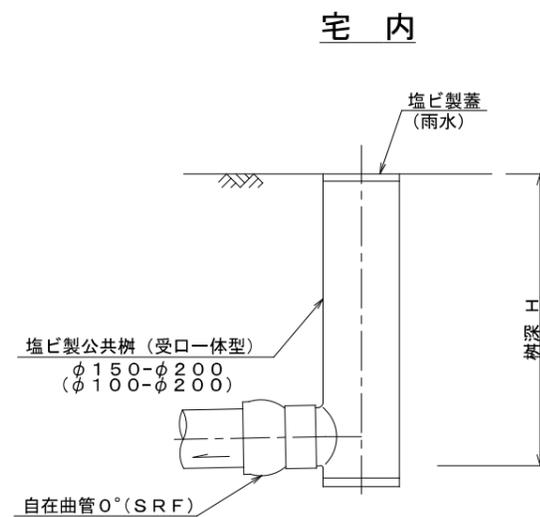
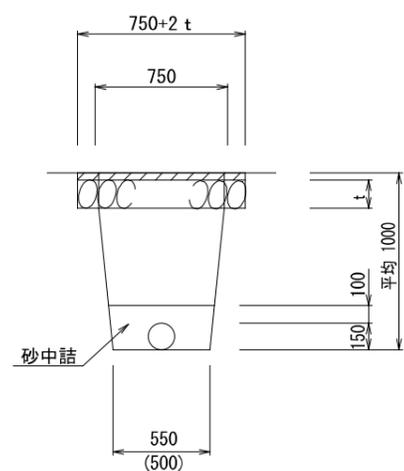
取付管標準図

小口径公共樹（内径200mm）標準図 S=1/10



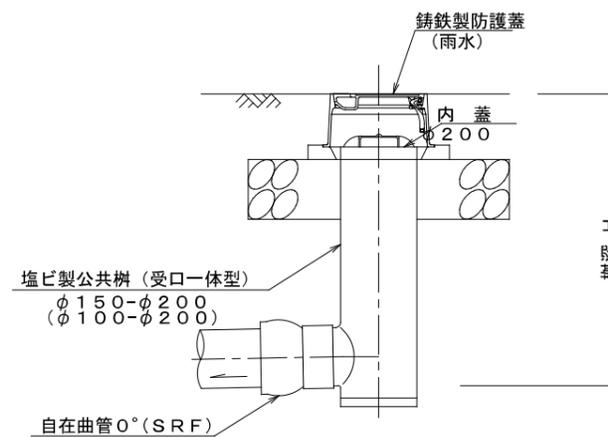
※管種が違う場合は変換継手を使用する

断面図

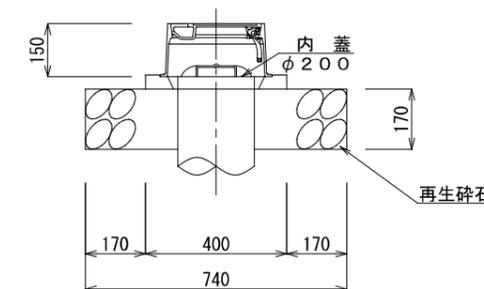


受口タイプ

車庫及び駐車場

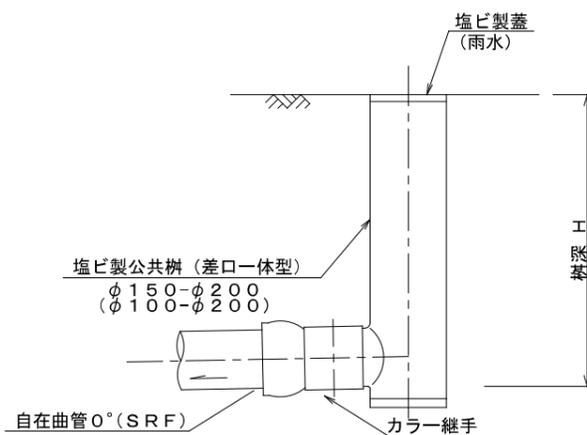


鋳鉄製防護蓋詳細図 (雨水)

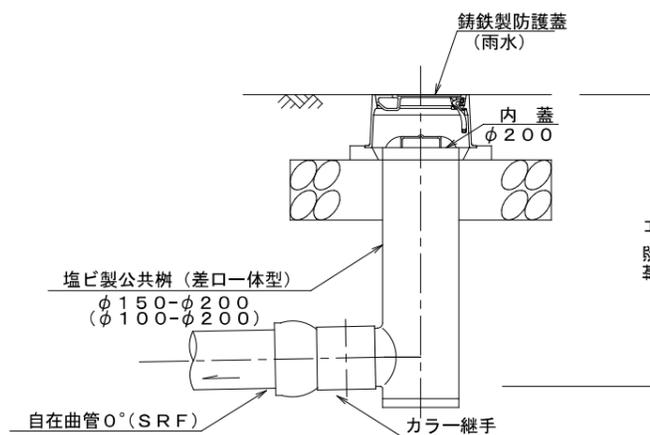


差口タイプ

宅内



車庫及び駐車場



- (注)
- ・最小土被りdは、歩道部0.50m、車道部0.60m以上とする。
 - ・取付支管の最小中心間距離は、0.70m以上とする。
(ただし、本管がφ150の場合は1.0m以上とする。)
 - ・公共樹のHは、樹深を示す。

参 考 资 料

—道路構造物補修工事（市道港町5号線外）—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-07.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 02 市街地(DID補正) 復興補正区分 00 補正なし 週休補正区分 09 閉所型・月単位 現場事務所等の貸与区分 00 補正なし ICT補正区分 00 補正なし 冬期補正係数 00 補正なし 緊急工事区分 00 通常工事 0% 前払金支出割合区分 00 補正無し 契約保証区分 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
管路埋戻	180	m3			単第0 -0001 表 Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
管路埋戻	110	m3			単第0 -0003 表 Y1101010102 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	30	m3			単第0 -0005 表
発生土処理					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	60	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土処分費					F0000000001 00
	60	m3			
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 呼び径 300mm					Y1101010203レベル4
	64	m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 300mm					SG1D0006001 00
	64	m			単第0 -0008 表
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径300mm,ヒューム管径250mm					TH011046 00
	8	組			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自在曲管 300mm 15°	1	個			F0000000101 00
硬質塩化ビニル管 呼び径 400mm	31	m			Y1101010203レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 400mm	31	m			SG1D0006001 00 単第0 -0009 表
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径400mm, ヒューム管径350mm	6	組			TH011050 00
管基礎工	1	式			Y11010103 レベル3
砂基礎 300 再生砂	64	m			Y1101010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	6	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0011 表
再生砂	6	m3			TTPC00011 00
砂基礎 400 再生砂	31	m			Y1101010301レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎工(機械施工)					SG1D0019002 00
再生砂	4	m3			単第0 -0011 表
管路土留工	4	m3			TTPC00011 00
軽量鋼矢板土留	1	式			Y11010105 レベル3
軽量鋼矢板建込工(両側分)	1	式			Y1101010503レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	24	m			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板建込工(両側分)	47	m			単第0 -0012 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	24	m			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	47	m			単第0 -0013 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	24	m			SG1D0033002 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	47	m			単第0 -0014 表
鋼矢板軽量型賃料 1回使用 供用日数11日	4	t			SG1D0033002 00
					S0850 00
					単第0 -0015 表
					単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板軽量型賃料 2回使用 供用日数14日	5	t			S0850 00 単第0 -0017 表
土留支保工(鋼製支保工)	71	m			Y1101010504 レベル4
土留支保工(軽量金属支保工) 設置	38	m			SG1D0033008 00 単第0 -0018 表
土留支保工(軽量金属支保工) 設置	33	m			SG1D0033008 00 単第0 -0019 表
土留支保工(軽量金属支保工) 撤去	38	m			SG1D0033008 00 単第0 -0020 表
土留支保工(軽量金属支保工) 撤去	33	m			SG1D0033008 00 単第0 -0021 表
土留支保工(軽量金属支保工)賃料	1	式			F0000000401 00
開削水替工	1	式			Y11010109 レベル3
開削水替	1	式			Y1101010901 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ運転工	8	日			SG1D0042001 00 単第0 -0022 表
据付・撤去工	1	現場			SG1D0042002 00 単第0 -0024 表
マンホール工	1	式			Y110102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y11010202 レベル3
組立0号マンホール	1	箇所			Y1101020201 レベル4
鉄蓋 転落防止梯子付 T-25	1	個			F000000201 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450	1	個			TH003036 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1500	1	個			TH003058 00
円形0号(内径750)I種 底版	1	個			TH003062 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール付属品 調整リング 600×150	1	個			TH003102 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径400用	1	箇所			TH003138 00
底部工(組立式)(組立0号マンホール)	1	箇所			SG1D0052001 00 単第0 -0025 表
組立0号マンホール 0号(内径750mm),楕円 深さ2m超~3m以下	1	箇所			SG1D0052002 00 単第0 -0027 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	0.1	m2			SPK25040159 00 単第0 -0028 表
組立1号マンホール	5	箇所			Y1101020202レベル4
鉄蓋 転落防止梯子付 T-25	1	個			F000000201 00
下水道用マンホールふた 有効径 600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-25	4	組			TH003182 00
円形1号(内径900)1種 床版斜壁 H150	1	個			TH012342 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300	3	個			TH003064 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	1	個			TH003066 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×900	1	個			TH003088 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1200	1	個			TH003090 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1500	3	個			TH003092 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	5	個			TH003096 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	1	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	4	個			TH003102 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径300用	5	個所			TH003134 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径400用	1	個所			TH003138 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	5	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0029 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	5	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0030 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	0.5	m2			SPK25040159 00 単第0 -0028 表
取付管およびます工	1	式			Y110104 レベル2
取付管布設工	1	式			Y11010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管) 管径 100mm	3	箇所			Y1101040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 100mm	3	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0031 表
取付管(硬質塩化ビニル管) 管径 125mm	1	箇所			Y1101040302レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設および支管取付工 管径 125mm	1	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0032 表
取付管(硬質塩化ビニル管) 管径 150mm	1	箇所			Y1101040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	1	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0033 表
取付管(硬質塩化ビニル管) 管径 200mm	1	箇所			Y1101040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 200mm	1	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0034 表
取付管(硬質塩化ビニル管) 管径 300mm	2	箇所			Y1101040302レベル4
マンホール継手 300 上流用	2	個			F0000000102 00
マンホール継手 300 下流用	2	個			F0000000103 00
本管継手 300用	2	個			F0000000104 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
付帯工					Y110106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y11010601 レベル3
	1	式			
舗装版切断					Y1101060101 レベル4
	203	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK25040307 00
	203	m			単第0 -0035 表
舗装版破碎					Y1101060102 レベル4
	297	m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK25040306 00
	297	m2			単第0 -0036 表
舗装版破碎					Y1101060102 レベル4
	109	m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK25040306 00
	109	m2			単第0 -0036 表
殻運搬処理					Y1101060105 レベル4
	18	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)	18	m3			SPK25040155 00 単第0 -0037 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻処分費	43	t			F000000002 00
掘削工	1	式			Y1E020101 レベル3
掘削 土砂	2	m3			Y1E02010101 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	2	m3			SPK25040001 00 単第0 -0038 表
残土処理工	1	式			Y1E020110 レベル3
土砂等運搬 【土質】	2	m3			Y1E02011002 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)	2	m3			SPK25040002 00 単第0 -0039 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分					Y1E02011003レベル4
	2	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土処分費					F0000000001 00
	2	m3			
舗装復旧工					Y11010603 レベル3
	1	式			
不陸整正					Y1101060301レベル4
	109	m2			
不陸整正 補足材料無し					SPK25040234 00
	109	m2			単第0 -0040 表
下層路盤(車道・路肩部)					Y1101060302レベル4
	109	m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30					SPK25040235 00
	109	m2			単第0 -0041 表
上層路盤(車道・路肩部)					Y1101060304レベル4
	109	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	109	m2			SPK25040237 00 単第0 -0042 表
表層(車道・路肩部)	297	m2			Y1101060308 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	297	m2			SPK25040244 00 単第0 -0043 表
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3
表層(車道・路肩部)	109	m2			Y1101060408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚30mm	109	m2			SPK25040244 00 単第0 -0044 表
区画線工	1	式			Y11010605 レベル3
溶融式区画線	4	m			Y1101060501 レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_45cm	4	m			SDT00001 00 単第0 -0045 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
溶融式区画線					Y1101060501 レベル4
	2	m			
区画線設置(溶融式) 実線_15cm					SDT00001 00
	2	m			単第0 -0046 表
溶融式区画線					Y1101060501 レベル4
	12	m			
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算					SDT00001 00
	12	m			単第0 -0047 表
道路付属物復旧工					Y11010607 レベル3
	1	式			
歩車道境界ブロック					Y1101060709 レベル4
	32	m			
歩車道境界ブロック撤去・復旧 標準部					V0001 00
	29	m			単第0 -0048 表
歩車道境界ブロック撤去・復旧 乗入れ部					V0002 00
	3	m			単第0 -0054 表
コンクリート塊運搬処理					Y1101060905 レベル4
	3	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	3	m3			SPK25040155 00 単第0 -0056 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co(無筋)殻処分費	7	t			F000000003 00
既設構造物撤去工	1	式			Y11010609 レベル3
既設管撤去	53	m			Y1101060902レベル4
陶管撤去工 呼び径 300mm	53	m			SG1D1071003 00 単第0 -0057 表
コンクリート塊運搬処理	2	m3			Y1101060905レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	2	m3			SPK25040155 00 単第0 -0056 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
Co(無筋)殻処分費					F0000000003 00
モルタル充填工	4	t			Y3999 レベル3
モルタル充填工	1	式			Y1K01010504 レベル4
充填工	1	式			SQ000061 00
仮設工	6	m3			単第0 -0059 表 Y1E0215 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E021521 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1E02152101 レベル4
交通誘導警備員B	63	人			R0369 00
	63	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
運搬費	1	式			YZZ04001004 レベル4
仮設材運搬費	1	t			S1000007 00
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 0.3km 製品長 12m以内	1	式			単第0 -0061 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0023

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0005 表

頁0 -0025

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	120.000	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=120 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0007 表

1

日 当り

4t積級

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	32.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (普)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=32 燃料消費量(L/日) F=2 路面状況:普通		

施工単価表

硬質塩化ビニル管布設工
呼び径 400mm

SG1D0006001

単第0 -0009 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.27	人			
特殊作業員	0.54	人			
普通作業員	0.54	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.27	日			単第0-0010 表
諸雑費	1	%			#09
1m当り(計/10m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=6 呼び径 400mm					

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0012 表

頁0 -0032

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	11.6	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0013 表

頁0 -0033

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	7.2	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	12.5	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0014 表

頁0 -0034

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	1.0	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0015 表

頁0 -0035

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	1.0	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

頁0 -0046

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0026 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

労務構成比:

37.14%

材料構成比: 59.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

37,478.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK25040159

単第0 -0028 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

13,667.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.23%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	32.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=3 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)		

施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0035 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0036 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 30.65% 労務構成比:

63.79% 材料構成比: 5.56%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

612.24000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735~850mm 破砕力550~980kN	21.16%		バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735~850mm 破砕力550~980kN		MTPC00051 MTPT00051
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	28.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.78%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	5.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 F=1	アスファルト舗装版 騒音振動対策必要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 44.05% 労務構成比: 39.87%

SPK25040155

DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)

材料構成比: 16.08%

単第0 -0037 表

1

m3 当り

標準単価:

2,385.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=15 運搬距離3.5km以下(1.5km超)		

施工単価表

掘削

SPK25040001

単第0 -0038 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 26.01% 労務構成比:

62.89%

材料構成比: 11.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,241.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0039 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,525.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=14 距離3.0km以下(2.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

単第0 -0040 表

1

m2 当り

機械構成比: 21.58% 労務構成比: 71.86% 材料構成比: 6.56% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0041 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.72% 労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0041 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.72% 労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 30~0mm	74.21%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0042 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0042 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比: 37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0043 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38% 労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0043 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0044 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38% 労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0044 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(溶融式)
実線 45cm

SDT00001

単第0 -0045 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	76.650	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=4 実線_45cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0046 表

実線 15cm

1000

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)
矢印・記号・文字_15cm換算

SDT00001

単第0 -0047 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	105.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=13 矢印・記号・文字_15cm換算 E=1 アスファルトに設置の場合 G=1 - I=1 -			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

歩車道境界ブロック撤去
再利用

SPK25040292

単第0 -0049 表

機械構成比: 3.96% 労務構成比: 94.58% 材料構成比: 1.46% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,470.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.96%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	30.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	17.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					

施工単価表

歩車道境界ブロック
各種(600mm以下,50kg未満)

SPK25040290

単第0 -0051 表

再利用設置 基礎砕石無し

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,154.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	43.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	26.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	24.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 再利用設置 E=2 基礎砕石無し			B=13 各種(600mm以下,50kg未満) F=4 均し基礎コンクリート無し		

施工単価表

頁0 -0083

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0052 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50% 労務構成比:

34.96% 材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,531.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0085

基礎碎石

SPK25040034

単第0 -0053 表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.33% 労務構成比:

78.32%

材料構成比: 16.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,263.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.30%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	11.39%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

歩車道境界ブロック撤去・復旧
乗入れ部

V0002

単第0 -0054 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック撤去 再利用	10	m			単第0-0049 表
U型側溝 材料別途 L=1000mm/本	1	m			単第0-0055 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	0.894	m3			単第0-0050 表
歩車道境界ブロック 各種(600mm以下,50kg未満) 再利用設置 基礎砕石無し	10	m			単第0-0051 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.860	m3			単第0-0052 表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	6	m2			単第0-0053 表
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0056 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,263.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

施工単価表

充填工

SQ000061

単第0 -0059 表

頁0 -0092

1

m3

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
特殊作業員	2.000	人			
普通作業員	2.000	人			
無収縮モルタル	20.000	t			
グラウトポンプ 二筒複動ピストン式 吐出量200L/min	1.000	日			
グラウトミキサ 並列2槽式 攪拌容量300L×2槽	1.000	日			
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型1次基準	1.000	日			単第0-0060 表
諸雑費	15	%			#09
1m3当り(計/発泡系充填材標準打設量)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=3 管閉塞 C=301 【F】充填材料費(m3)			B=3 流動化充填材		

数量計算書

組立1号マンホール工集計表

1工区単

名称	形状寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		No. 1						
鉄蓋(一般)	内径600mm H=110mm 受枠共	4				4	組	4
鉄蓋(転落防止)	内径600mm H=110mm 受枠共	1				1	組	1
受枠変形防止調整金具		5				5	個	5
調整リング	H= 50mm						個	
	H=100mm	1				1	個	1
	H=150mm	4				4	個	4
床版斜壁	H=150mm	1				1	個	1
斜壁	H=300mm	3				3	個	3
	H=450mm	1				1	個	1
	H=600mm						個	
直壁	H=300mm						個	
	H=600mm						個	
	H=900mm						個	
	H=1200mm						個	
	H=1500mm						個	
	H=1800mm						個	
躯体	H=600mm						個	
	H=900mm	1				1	個	1
	H=1200mm	1				1	個	1
	H=1500mm	3				3	個	3
	H=1800mm						個	
底版	H=130mm	5				5	個	5
削孔	VU100mm						箇所	
	VU125mm						箇所	
	VU200mm						箇所	
	VU300mm	5				5	箇所	5
	VU400mm	1				1	箇所	1
可とう性マンホール継手	VU100mm用						箇所	
	VU125mm用						箇所	
	VU200mm用						箇所	
	VU300mm用						箇所	
ブロック据付	H=3.0m以下	5				5	箇所	5
	H=3.0m~4.0m以下						箇所	
	H=4.0m~5.0m以下						箇所	
インパットコンクリート	0.18m3/箇所						箇所	
モルタル上塗り	0.84m2/箇所						箇所	
砕石基礎	0.97m2/箇所	5				5	箇所	5
調整モルタル高さ		123				123	mm	123
調整モルタル(無収縮)	0.245m3/m (無収縮モルタル)						m3	
型枠工	4.459m2/m (合板円形)	0.5				0.5	m2	0.5
底部コンクリート		0.05				0.05	m3	0.1

塩ビ管布設付帯工集計表(1)

1工区単

名称	形状寸法	数量内訳書								合計	単位	設計数量	
		No.1	No.2				取No.1						
		φ300 As 5-10-10	φ400 As 5-10-10				As 5-10-10						
付帯工	舗装切断工(As) 本管 t≤20cm	103.10	100.20							203.30	m	203	
	取付管										m		
	舗装切断工(Co) 本管 t≤20cm										m		
	取付管										m		
	舗装版破碎工(As) 本管 t=10cm以下(現況)	206.0	90.5							296.5	m ²	297	
	取付管										m ²		
	本管 t=10cm以下(仮舗)	70.8	38.5							109.3	m ²	109	
	取付管										m ²		
	舗装版破碎工(Co) 本管 t=10cm以下(現況)										m ²		
	取付管										m ²		
	殻運搬処理(As) 本管 (現況)	10.3	4.5							14.8	m ³	15	
	取付管										m ³		
	本管 (仮舗装)	2.1	1.2							3.3	m ³	3	
	取付管										m ³		
	殻運搬処理(Co) 本管 (現況)										m ³		
	取付管										m ³		
	すきとり 本管+取付管		t=2cm	t=2cm				t=2cm					
	発生土処理 本管 (1.4<b<3.0) 再生密粒度アスコン t=5cm	206.0	90.5							296.5	m ²	297	
	本管 (仮舗装) 再生粗粒度アスコン 本管(b<1.4) t=3cm	70.8	38.5							109.3	m ²	109	
	取付管 (仮舗装) b<1.4										m ²		
	下層路盤工(車道) 本管 再生切込碎石 t=10cm	70.8	38.5							109.3	m ²	109	
	取付管										m ²		
	上層路盤工(車道) 本管 粒調碎石 t=10cm(t=12)	70.8	38.5							109.3	m ²	109	
	取付管										m ²		
	表層工(本舗装) 本管 コンクリート t=7cm										m ²		
	路盤工 本管 再生切込碎石 t=10cm(t=14)										m ²		
	取付管										m ²		
	表層工(本舗装) 本管(1.4≤b≤3.0) 再生細粒度アスコン t=3cm										m ²		
	路盤工 本管 再生切込碎石 t=10cm(t=10)										m ²		
	取付管										m ²		
不陸製正		70.8	38.5						109.3	m ²	109		

取付管工 No.1(As舗装)

1工区 単

(現況舗装構成)

舗装表層厚 = 5 cm
 上層路盤厚 = 10 cm
 下層路盤厚 = 10 cm

道路幅員 = 3.34 m ~ 4.37 m
 本管掘削幅 = 1.05 m ~ 1.15 m
 取付管掘削幅 = 0.55 m

(復旧舗装構成)

舗装表層厚 = 5 cm
 上層路盤厚 = 10 cm
 下層路盤厚 = 10 cm

路線名	数量	取付管延長		本管土被		掘削深		掘削幅		掘削延長		掘削土量		本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管		可とう曲管		変換継手	カラー	P E直管	S R B	ます設置工以下	鋳鉄製防護蓋	備考								
		箇所	箇所×延長	小計	m	m	m	m	m	m	m	m ³	箇所					箇所	箇所	個	個								個	個	個	個	個	個	箇所	箇所
		宅	道																											90°	60°					
計画2	右	1	1 × 0.58	0.58	1.61	1.21	0.67	0.58	0.58 × 0					VU300 1									VU300 1	VU300 0.2												
	左	1	1 × 0.58	0.58	1.61	1.21	0.67	0.58	0.58 × 0					VU300 1									VU300 1	VU300 0.2												
計画1	右	1	1 × 0.53	0.53	1.59	1.20	0.67	0.53	0.53 × 0					HP300 1								HP→VU 1														
	左	1	1 × 0.53	0.53	1.59	1.20	0.67	0.53	0.53 × 0					VU200 1									VU200 1	VU200 0.2												
計画1	右	1	1 × 0.53	0.53	1.15	0.98	0.64	0.53	0.53 × 0					VU100 1									VU100 1	VU100 1.0												
	左	1	1 × 0.53	0.53	1.15	0.98	0.64	0.53	0.53 × 0					VU125 1									VU125 1	VU125 0.3												
計画1	右	1	1 × 0.53	0.53	1.07	0.94	0.64	0.53	0.53 × 0					VU100 1									VU100 1	VU100 0.3												
	左	1	1 × 0.53	0.53	1.07	0.94	0.64	0.53	0.53 × 0					VU150 1									VU150 1	VU150 0.3												
計画1	右	1	1 × 0.53	0.53	1.00	0.90	0.64	0.53	0.53 × 0					TP300 1									TP→VU 1													
	左	1	1 × 0.53	0.53	1.00	0.90	0.64	0.53	0.53 × 0					VU100 1									VU100 1	VU100 0.3												
計		10		5.40										箇所 2	箇所 8	箇所 3	ケ 2	ケ 2	ケ 2	ケ 2	ケ 8	ケ 2.8	ケ 2.8	ケ 2.8	ケ 2.8	ケ 2.8	ケ 2.8	ケ 2.8								
配管延長				5.40		5.40												可とう支管90°		可とう曲管60°																
掘削		人力				m ³		カラー														変換継手														
		BHO.13m ³				m ³		カラー																												
残土				0.0 - (0.0 ÷ 0.9)		m ³		発生土埋戻																				m ³								

取付管付帯工 No.1(As舗装)

舗装表層厚 = 5 cm
 上層路盤厚 = 10 cm
 下層路盤厚 = 10 cm

本管掘削幅 = 1.05 m

1工区 単

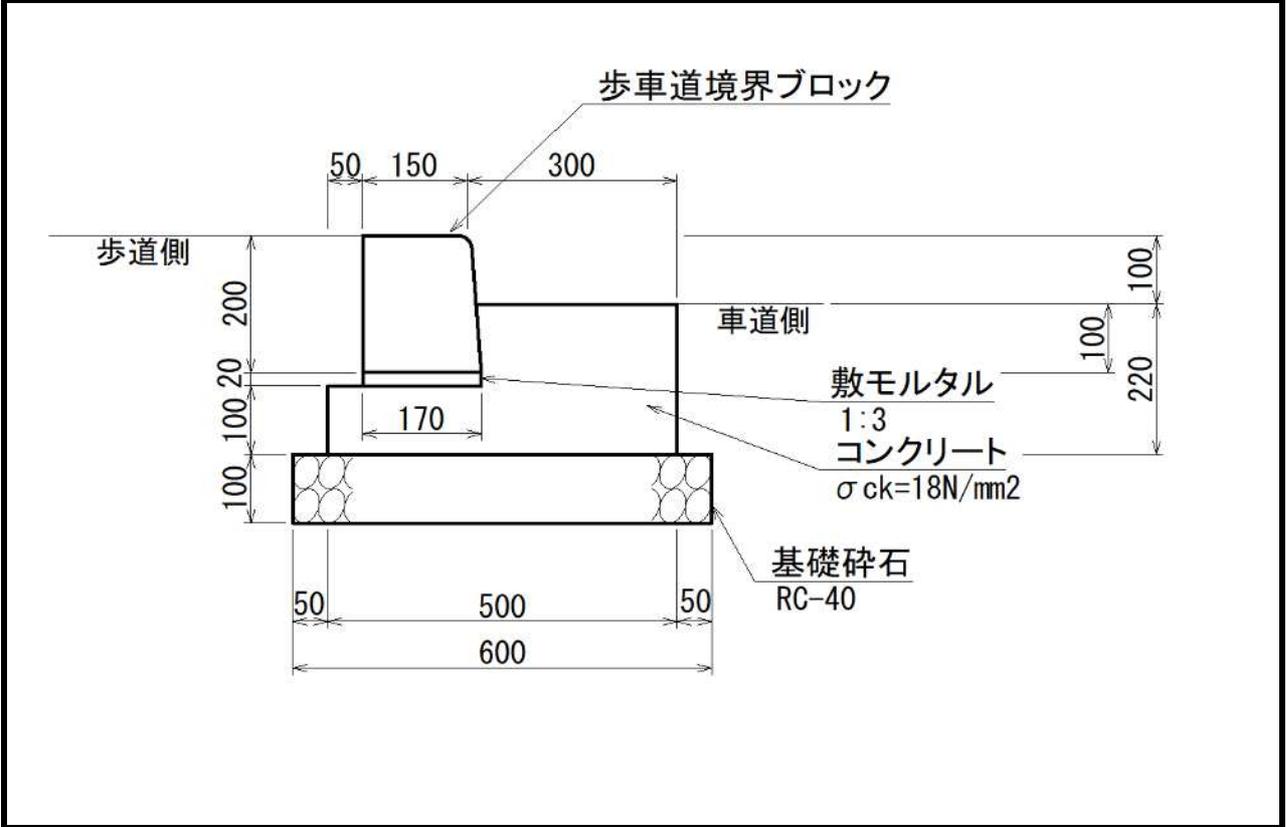
路線名	数量		舗装切断工		路盤工		表層工		上段：舗装延長 下段：路盤延長
	宅	道	列 × m	m	掘削幅 × m	m ²	掘削幅 × m	m ²	
計画2	右	.1							
	左	1							
計画1	右	.1							
	左	1							
計画1	右	.1							
	左	1							
計画1	右	.1							
	右	1							
計画1	右	.1							
	右	1							
	右								
	左								
	右								
	左								
	右								
	左								
	右								
	左								
	右								
	左								
	右								
	左								
	右								
	左								
計									
舗装殺処分工 (t = 5cm)			0.0 × 0.05 =		m ³				
舗装殺処分工 (t = 3cm)			0.0 × 0.03 =		m ³				

数量計算書

歩車道境界ブロック 標準部 撤去・復旧工

10m当り

算式根拠となる構造図



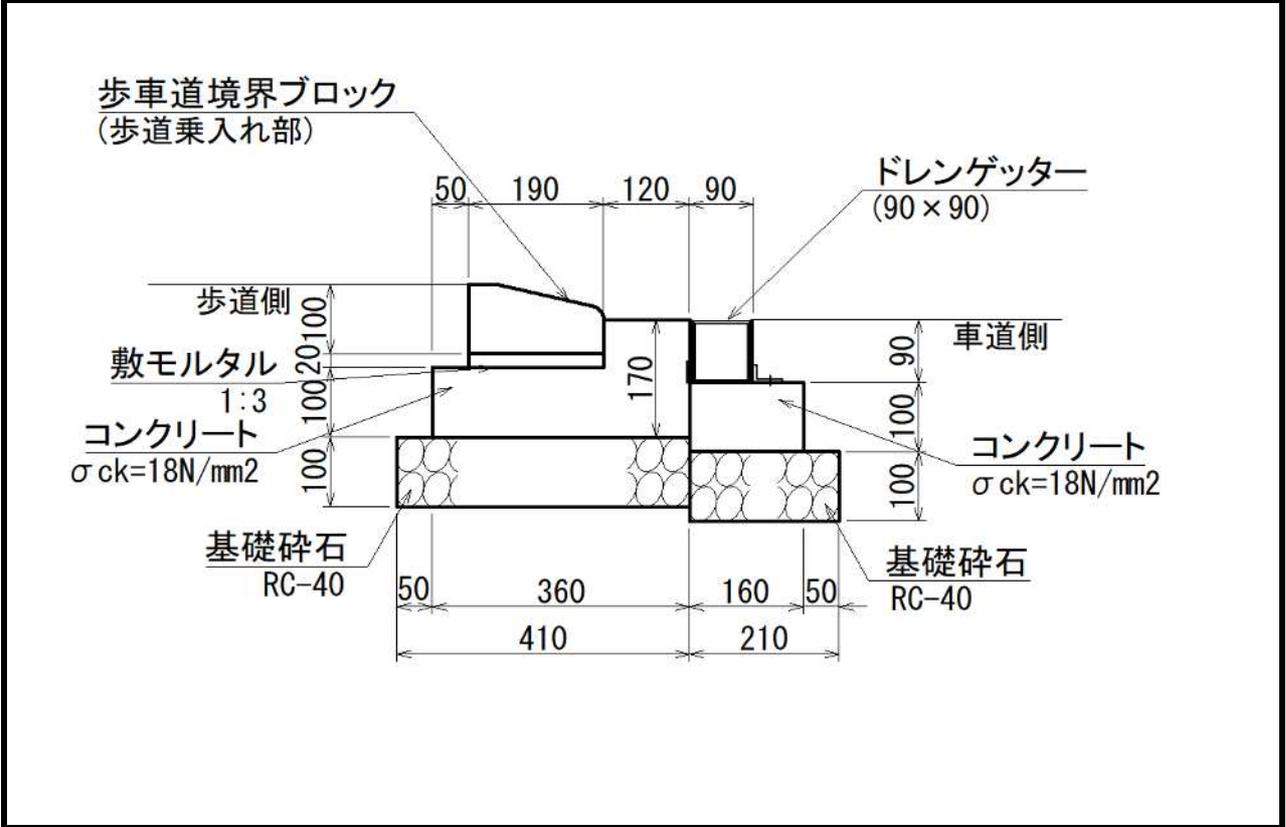
工 種	種 別	算 式	単 位	数 量
撤去工				
歩車道境界ブロック	流用 L=600mm/本	参考重量 W=44kg/本 N= 10.0/0.60	本	16.7
コンクリート 取壊し	無筋	$V = (0.22 \times 0.50 - 0.20 \times 0.12 + 0.17 \times 0.02) \times 10.0$	m ³	0.894
復旧工				
歩車道境界ブロック	流用 L=600mm/本	参考重量 W=44kg/本 N= 10.0/0.60	本	16.7
コンクリート工	無筋 σ _{ck} =18N/mm ²	$V = (0.22 \times 0.50 - 0.20 \times 0.12) \times 10.0$	m ³	0.860
敷モルタル	1 : 3	$V = (0.17 \times 0.02) \times 10.0$	m ³	0.034
基礎砕石	RC-40 t=10cm	$A = 0.60 \times 10.0$	m ²	6.00

数量計算書

歩車道境界ブロック乗入れ部 撤去・復旧工

10m当り

算式根拠となる構造図



工 種	種 別	算 式	単 位	数 量
撤去延長				
歩車道境界ブロック	流用 L=600mm/本	参考重量 W=21kg/本 N= 10.0/0.60	本	16.7
ドレンゲッター	流用 L=1000mm/本	参考重量 W=17kg/本 N= 10.0/1.00	本	10.0
コンクリート 取壊し	無筋	$V = ((0.17 \times 0.36 - 0.07 \times 0.24 + 0.19 \times 0.02) +$ $(0.10 \times 0.16)) \times 10.0$	m ³	0.642
復旧工				
歩車道境界ブロック	流用 L=600mm/本	参考重量 W=21kg/本 N= 10.0/0.60	本	16.7
ドレンゲッター	流用 L=1000mm/本	参考重量 W=17kg/本 N= 10.0/1.00	本	10.0
コンクリート工	無筋 σck=18N/mm ²	$V = ((0.17 \times 0.36 - 0.07 \times 0.24) + (0.10 \times 0.16)) \times 10.0$	m ³	0.604
敷モルタル	1 : 3	$V = (0.19 \times 0.02) \times 10.0$	m ³	0.038
基礎砕石	RC-40 t=10cm	$A = (0.41 + 0.21) \times 10.0$	m ²	6.20

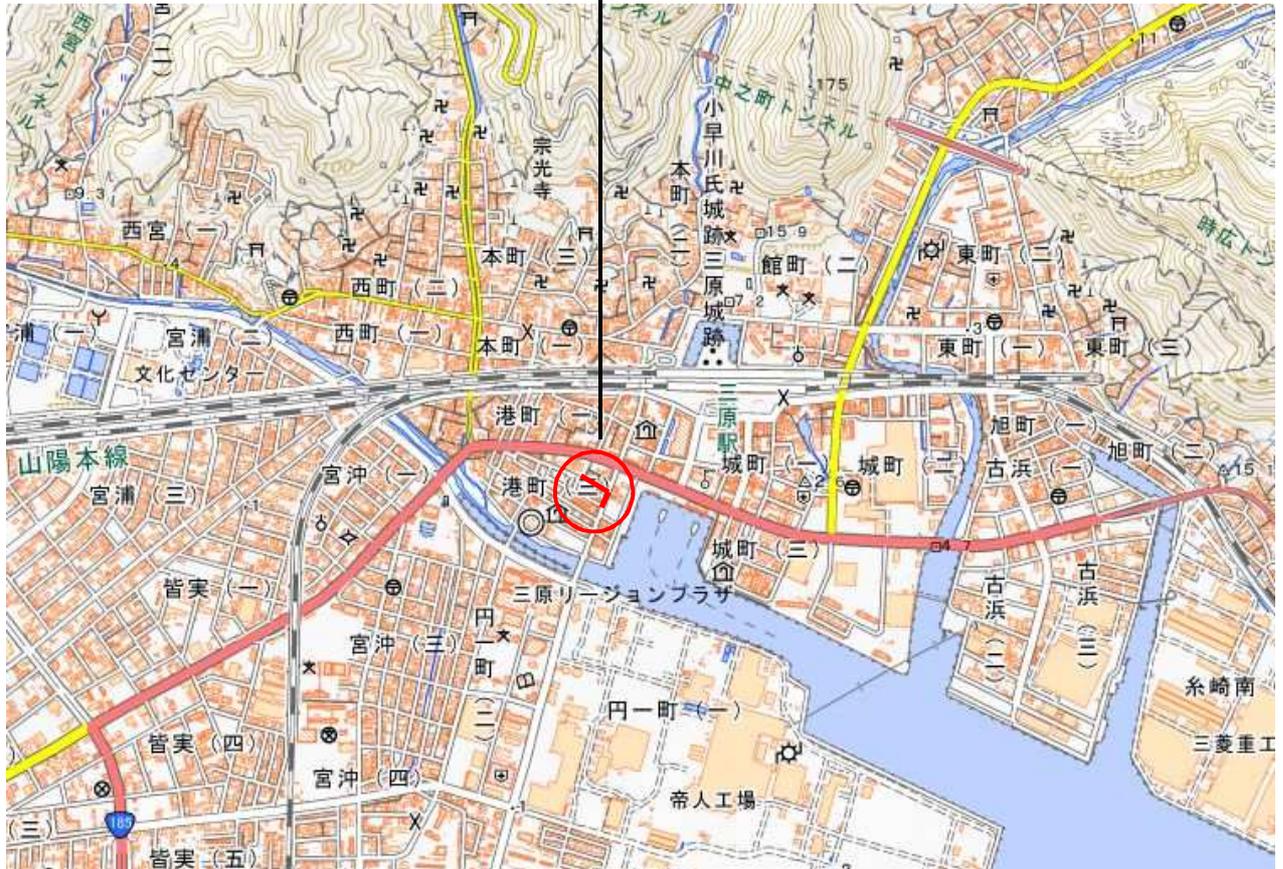
区画線工計算書

1 工区 単

路線番号	実線 (m)				実線 (m)				矢印・記号・文字 (m)		備考
	白線				黄線				白線	黄線	
	幅15cm	幅20cm	幅30cm	幅45cm	幅15cm	幅20cm	幅30cm	幅45cm	幅15cm換算		
計画1				1.80					7.20		
計画2				2.50					5.00		
計画3					1.50						
合計				4.30	1.50				12.20		

位置図

道路構造物補修工事(市道港町5号線外)



国土地理院地図引用